

孫の手通信

「玉川孫一郎と歩む会」 TEL 0475 (42) 1400



第2号

平成 20年 3月 19日

3月2日、「玉川孫一郎と歩む会」事務所開設式を開催しました。

(内容)

- ・「イルカッパーズ」(一宮町老女子在住の玉木ともこ・哲太郎ご夫妻)による演奏
- ・馬淵昌也会長 挨拶
- ・玉川孫一郎 挨拶
- ・石井としお・長生村長様 ご挨拶
- ・市東剛副会長 挨拶
- ・副会長 藤乗一由 母 藤乗津子 挨拶
- ・イルカッパーズ演奏による「一宮音頭」合唱

開設式には、多くの方々にお集まりいただきました。また、いすみ市、長生村、一宮町の議員有志の方々にもお越しいただきました。ありがとうございました。

石井としお・長生村長様 ご挨拶



玉川孫一郎さんとの交流

私と玉川さんとの付き合いは、約一年。その間、長野県、福島県に二度にわたり視察に赴き、大事などころでは一緒に勉強し、交流して来ました。

これからの町づくりー住民協働で魅力ある町を

一宮町は、非常に有利な立地条件。東京から特急で六十分、海も川も、里山もあって、田園もある。こんなに素晴らしいところはない。その上、二〇年度予算編成では、国は四千万円の地方交付税を増やす事になりました。一宮町も長生村も約五千万円です。それでも、これからの財政は確かに豊かではありません。

しかし、恵まれた立地条件の上に、「町民ができる事は町民がやる。地域が出来る事は地域でやる。どうしてもできない事は町・村がやる。」という考え方で、住民協働の町づくりを進めれば、必ず魅力ある町づくりができると思います。

長生村の二〇年度予算編成の大きな目玉

①妊婦健診ー現在の公費負担二回から、十回に。三五歳以上の方・第三子以降の出産には、十四回全てを公費負担にすることを提案。

②子供の医療費助成ー小学校にあがる前までの医療費助成を、小学校三年生までに引き上げる提案をします。

③農家の方に、五百万円の選別の機械に三分の一を村から補助。農家の方の活力が出る予算配分をする予定。

大きな目標に向かって共にがんばろう！

これからの二ヶ月間は、とにかく体に注意して下さい。応援団の皆さんは、どんどん仲間を増やし、玉川さんをもり立てて、がんばってください！また、この場をお借りして、長生村の友人等がございましたら、ご紹介をお願いします。ありがとうございました。

市東剛 副会長 挨拶

きく耳を持って、人を育てて欲しい！

ぼくの年代の者は、政治に関わるような事には全く無関心でした。「結局いつも変わらない」と思っていたからです。ですから、この会の副会長を頼まれたときに、ためらいました。とにかく、ぼくたち若い者や、お年寄りの方々に対して「きく耳を持ってくれる」リーダーが欲しいです。

それで、しばらく玉川さんたちと膝を突き合わせて、話してみました。その結果、「この人分かってくれる。やつとこういう人が出てきてくれた」と感じました。それで、「自分は非力だけれど、応援しよう！」と決意しました。

今、一宮にはすごい人材の方々がたくさんいらつしやいます。お年寄りの方も、草刈りに行ったり、松林で清掃したりしてくださいませ。若い人達の中にも、「自分たちで何かをやりたい、やろう！」という人達がどんどん出てきています。新しいリーダーには、そういう方々の力を集めて、まず、人を育ててもらいたいのです。それを玉川さんに望みます。

ここで、私たちの会の「5つの約束」をご紹介します。



①公職選挙法を学び、守ります。

②誹謗中傷は、絶対いたしません。

③買収は、絶対にいたしません。

④個人の人格を尊重し、プライバシーを守ります。

⑤カンパとボランティアでお金のかからない後援会活動を行います。

よろしくお願いします！

副会長
藤乗一由 母
藤乗津子
挨拶

挨拶



一宮小学校での玉川さん

私は一宮小学校で教師をしていました。その時に4年制の教育学部を卒業した方が、新鋭で初めて赴任されました。玉川さんは、その方の受け持ちでした。「4年制を出た新しい方がどんな子供を育ててくれるのだろう」と大きな関心を寄せていましたが、それが今こうして世代を背負ってみようというお気持ちになられたという事。とても嬉しい事です。

中村孫右衛門さんと玉川さん

「昭和の大合併」で、当時、今の長生村だった船頭給・新地・宮原地区は、一宮町に編入されました。そのときに、玉川さんのお父さま・中村孫右衛門さんは、「一宮と合併したらきつとうまくやっついていける」という夢を持ち、大変な苦勞をされました。九二歳の今も健在だとい、町の歴史の証だと思いきや無量です。

お父さまの夢を今の時代に合わせ、どうぞこれから十二分におやりになつていただく事を希望して止みません。



最後は「イルカッパーズ」の演奏で、「一宮音頭」をみんなで合唱しました。

3月3日 記者会見を行いました。

(掲載新聞をご紹介させていただきます。)

みる・きく・動く

たまがわ まごいちろう
玉川孫一郎



～ ボランティア募集 ～

「玉川孫一郎と歩む会」では、手を貸していただける方を募集しています。どんな小さなことでも構いません。わずかな時間で構いません。どなたでも歓迎いたします。

連絡先：0475(42)1400 「玉川孫一郎と歩む会」事務所(10:00～16:00)

【3月4日 千葉日報】



玉川 孫一郎氏

一宮町長選

玉川氏が出馬を表明

「自立の道探るとき」

任期満了に伴い五月十日、立候補することを目指し、八日に投票が行われる一宮町長選に、町の住民グループが推す元県庁職員玉川孫一郎氏(61)が三条件と東京まで待急で一時間という立地条件を生かす、川は汚れるな子どもどころの面影はなく、故郷一宮の現状に深い危機感をもっている。今こそ町が変わると

きであり、自立の道を探り未来に向かって歩みだすとき。未来の上総一宮をつくる会(黒淵昌也会長)に推挙され出馬の意思を固めた」と語った。同氏は一九七〇年に東上総県民センター副主幹で退職した。

【3月4日 毎日新聞】

玉川氏出馬表明

一宮町長選
元県職員玉川孫一郎氏(61)が3日、一宮町長選(5月13日告示、同18日投票)に、無所属で出馬することを表明した。

玉川氏は「今こそ町

が生まれ変わる時。住民が主人公の町づくりや徹底した情報公開、住民参画を目指す」と述べた。

同町長選には元町議の秋場哲氏(55)が出馬表明している。

【吉村建二】

【3月4日 読売新聞】

一部報道で、「(玉川は)合併問題については、住民アンケートで賛否を問う」と伝えられましたが、玉川の考えは、一貫して「合併問題は、住民投票で！」ということ、変わりありません。

元県職員の玉川氏 一宮町長選出馬

元県職員で住民団体メンバーの玉川孫一郎氏(61)が3日、5月18日投票の一宮町長選に無所属で立候補することを表明した。記者会見で玉川氏は「財政基盤を強化し、情報公開などにより住民主体のまちづくりを進める」と公約を掲げた。

同町長選を巡っては、現職の近藤直町長(60)の今期限りでの引退が濃厚となっ

【3月4日 朝日新聞】

一宮町長選に 玉川氏出馬へ

元県職員

5月の一宮町長選に3日、新顔で元県職員の玉川孫一郎氏(61)が立候補を表明した。玉川氏は、長生郡市の合併協議を機に昨年できた市民団体「未来の上総一宮をつくる会」会員。合併は視野にないが、将来再浮上する可能性がある合併協議などで住民の意思が重視されるよう、住民投票条例をつくる方針という。同町長選には、前回現町長に1票差で敗れた元町議会議員の秋場哲氏(55)が立候補を表明している。

ている。これまでに出馬の意思を明らかにしたのは、元町議の秋場哲氏(55)に次いで2人。